第 73 回栃木県新型コロナウイルス
感染症対策本部会議

日時　令和４(2022)年１月18日（火）17：00～

場所　県庁舎本館８階　危機管理センター本部室

次　　第

１　開　会

２　議　題

（１）　新型コロナウイルスの感染症患者の発生状況について

（２）　今後の対応について

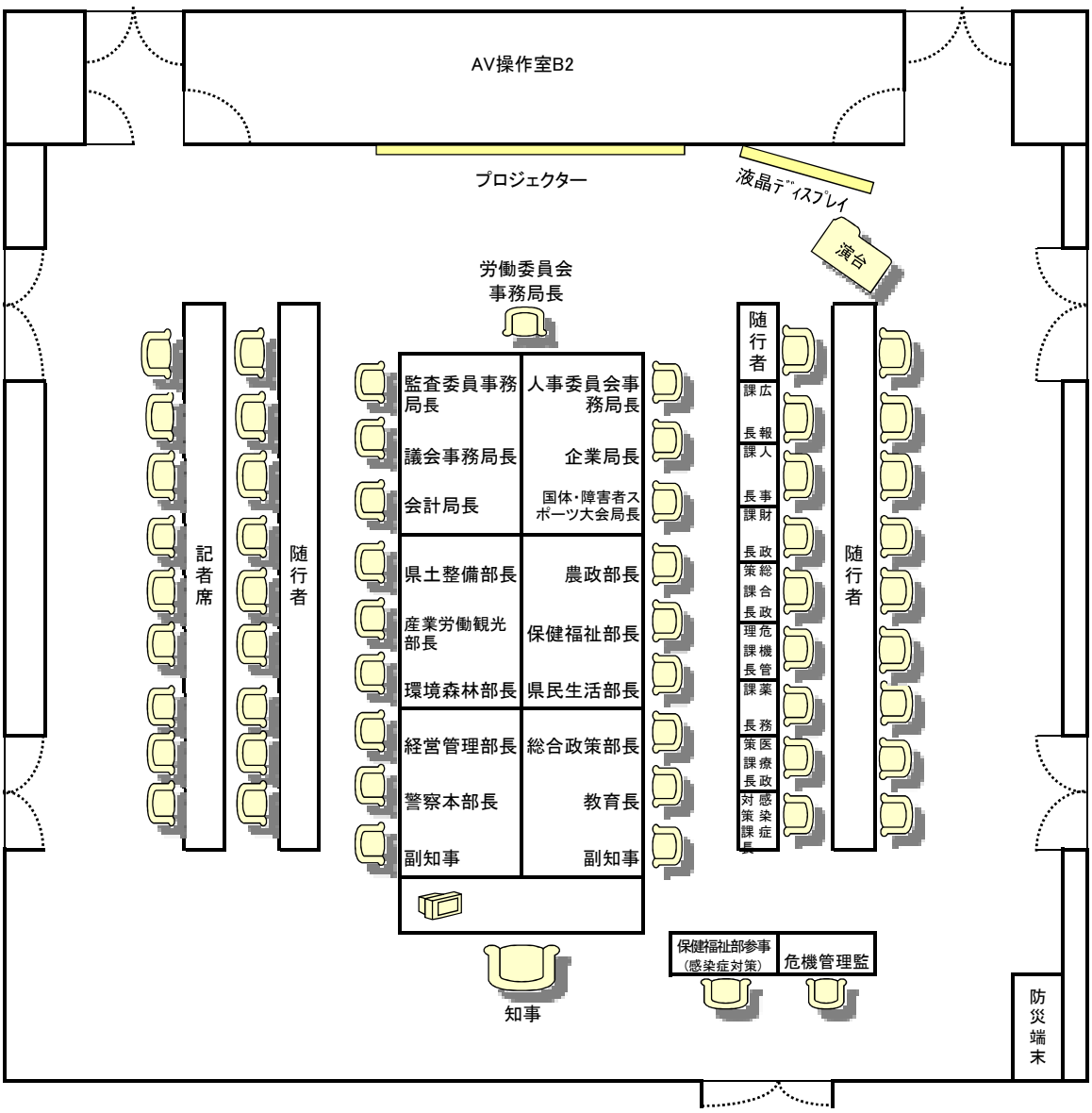
（３）　その他

３　閉　会

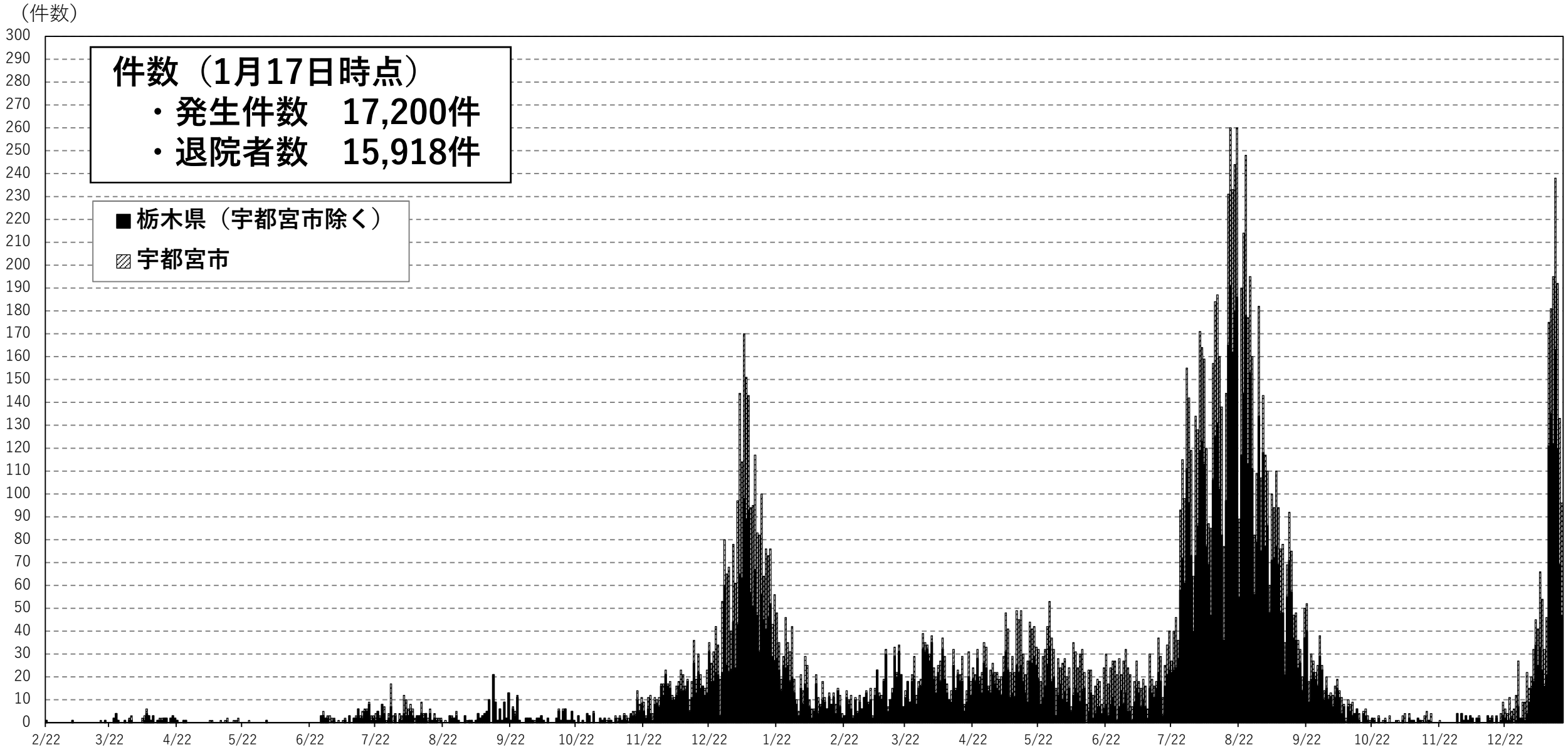
栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部名簿

本部長	栃木県知事	福田　富一
副本部長	副知事	北村　一郎
	副知事	末永　洋之
本部員	教育長	荒川　政利
	警察本部長	野井　祐一
	総合政策部長	阿久澤　真理
	経営管理部長	國井　隆弘
	県民生活部長	千金楽　宏
	環境森林部長	鈴木　英樹
	保健福祉部長	仲山　信之
	産業労働観光部長	辻　真夫
	農政部長	青柳　俊明
	県土整備部長	田城　均
	国体・障害者スポーツ大会局長	橋本　陽夫
	会計局長	熊倉　精介
	企業局長	琴寄　行雄
	県議会事務局長	大橋　哲也
	人事委員会事務局長	清水　正則
	監査委員事務局長	北條　俊明
	労働委員会事務局長	渡邉　慶
	危機管理監	神山　正幸
	保健福祉部参事（感染症対策）	塚田　三夫

本部会議座席表（危機管理センター本部室）



栃木県内 新型コロナウイルス感染症に係る発生状況

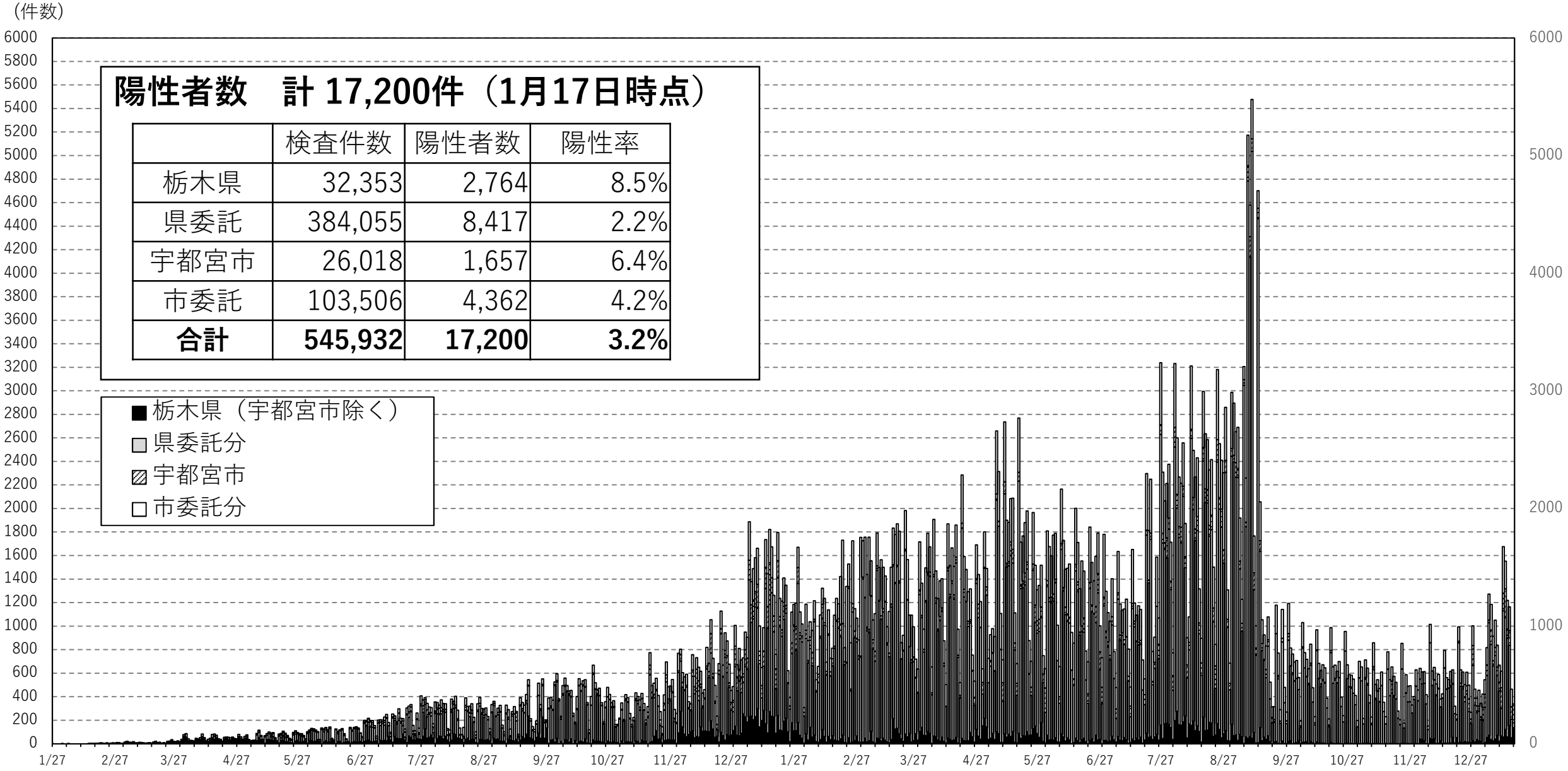


※グラフは判明日別の件数

栃木県内 新型コロナウイルス感染症に係る検査件数

陽性者数　計 17,200件（1月17日時点）

	検査件数	陽性者数	陽性率
栃木県	32,353	2,764	8.5%
県委託	384,055	8,417	2.2%
宇都宮市	26,018	1,657	6.4%
市委託	103,506	4,362	4.2%
合計	**545,932**	**17,200**	**3.2%**

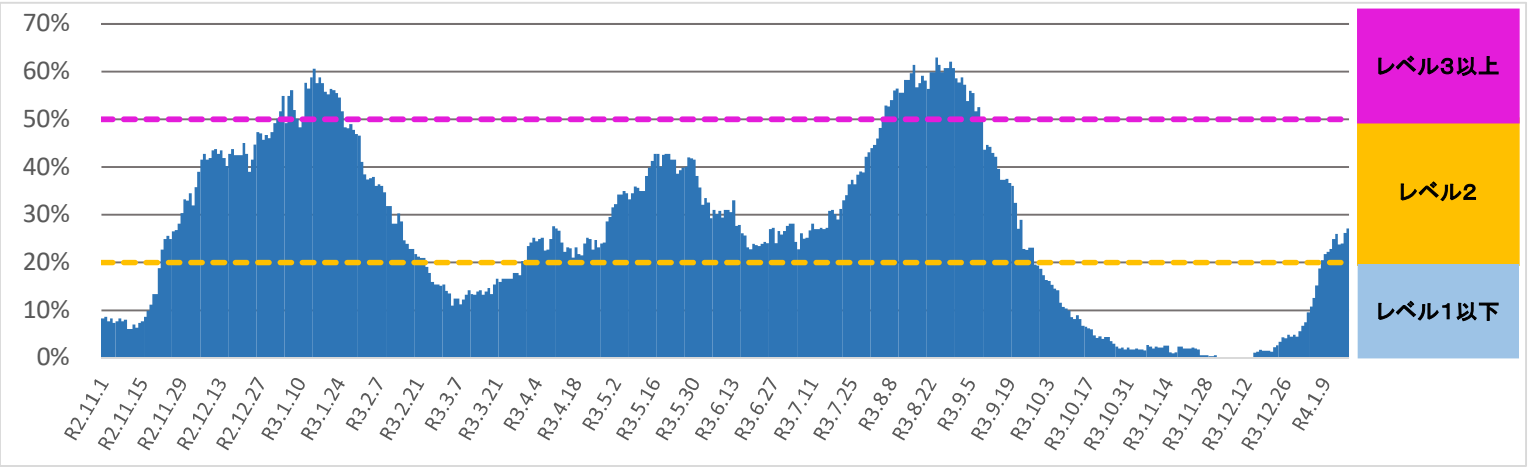


警戒度レベルの判断に使用する指標及び目安

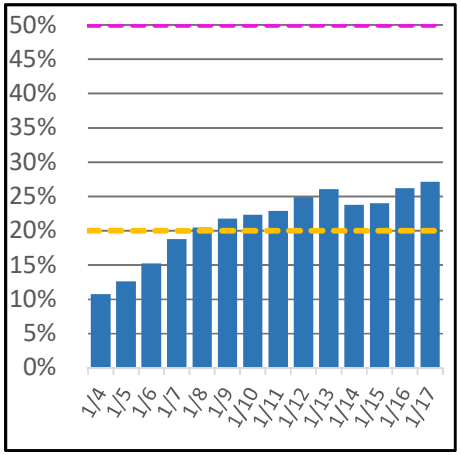
医療提供体制等の負荷

病床使用率

1月17日 現在値	27.1%	
過去最大値（直近日）	62.9%	（令和3年8月24日）



直近2週間の推移

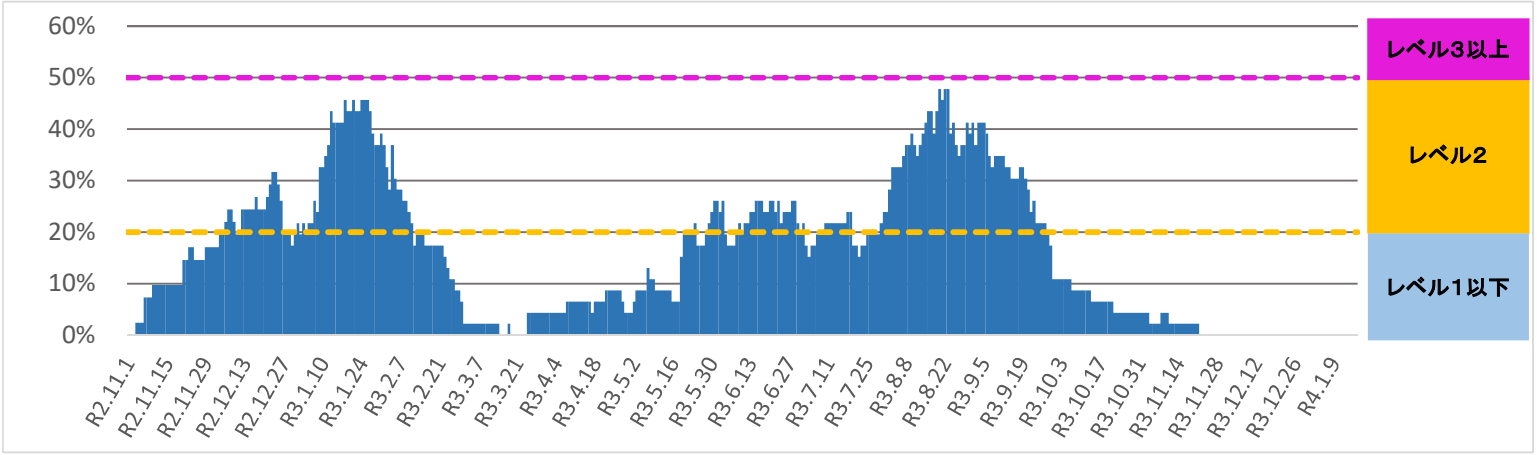


※受入病床数：313床(R2.9/16～)、317床(R2.12/26～)、333床(R3.1/8～)、337床(R3.1/14～)、377床(R3.2/1～)、409床(R3.3/5～)、448床(R3.6/1～)、461床(R3.8/20～)、477床(R3.9.9～)、502床(R3.9.28～)、533床(R3.11.30～)、538床(R4.1.4～)

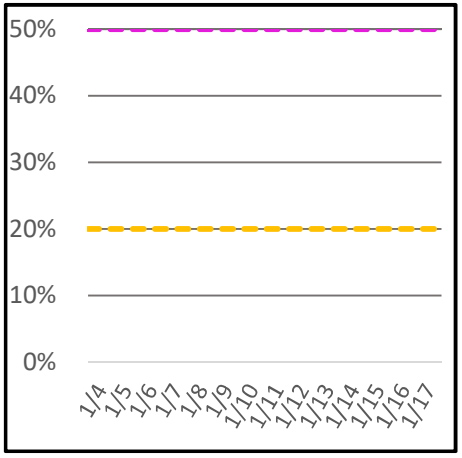
※利用病床数には、空港検疫・県外で確認された陽性者による病床利用を算入しています。

重症病床使用率

1月17日 現在値	0.0%	
過去最大値（直近日）	47.8%	（令和3年8月23日）



直近2週間の推移



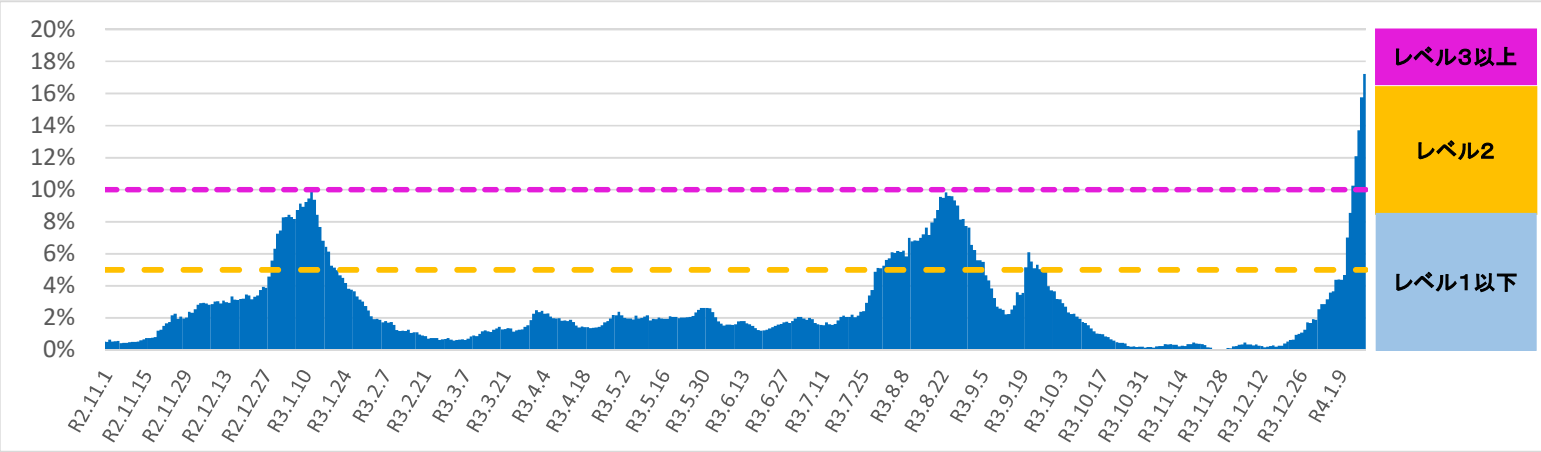
※重症病床数：受入病床313床のうち41床(R2.9/16～)、受入病床317床のうち46床(R2.12/26～)、受入病床333床のうち46床(R3.1/8～)、受入病床337床のうち46床(R3.1/14～)、受入病床377床のうち46床(R3.2/1～)、)、受入病床409床のうち46床(R3.3/5～)、受入病床448床のうち46床(R3.6/1～)、受入病床461床のうち46床(R3.8/20～)、受入病床477床のうち46床(R3.9/9～)、受入病床502床のうち46床(R3.9/28～)、受入病床533床のうち46床(R3.11/30～)、受入病床538床のうち46床(R4.1/4～)

※利用病床数には、空港検疫・県外で確認された陽性者による病床利用を算入しています。

監　視　体　制

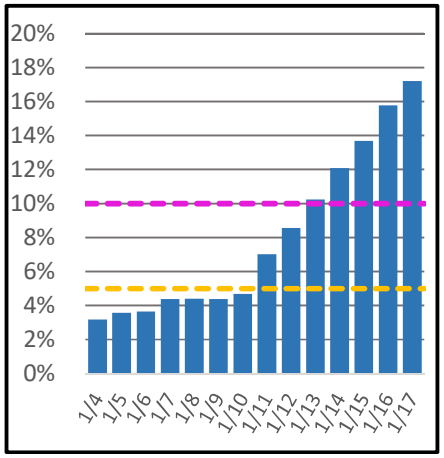
検査陽性率（直近1週間）

1月11日～　1月17日	17.2%	
過去最大値（直近日）	17.2%	（令和4年1月11日　～　1月17日）



※陽性率は民間の検査結果により後日変動する。

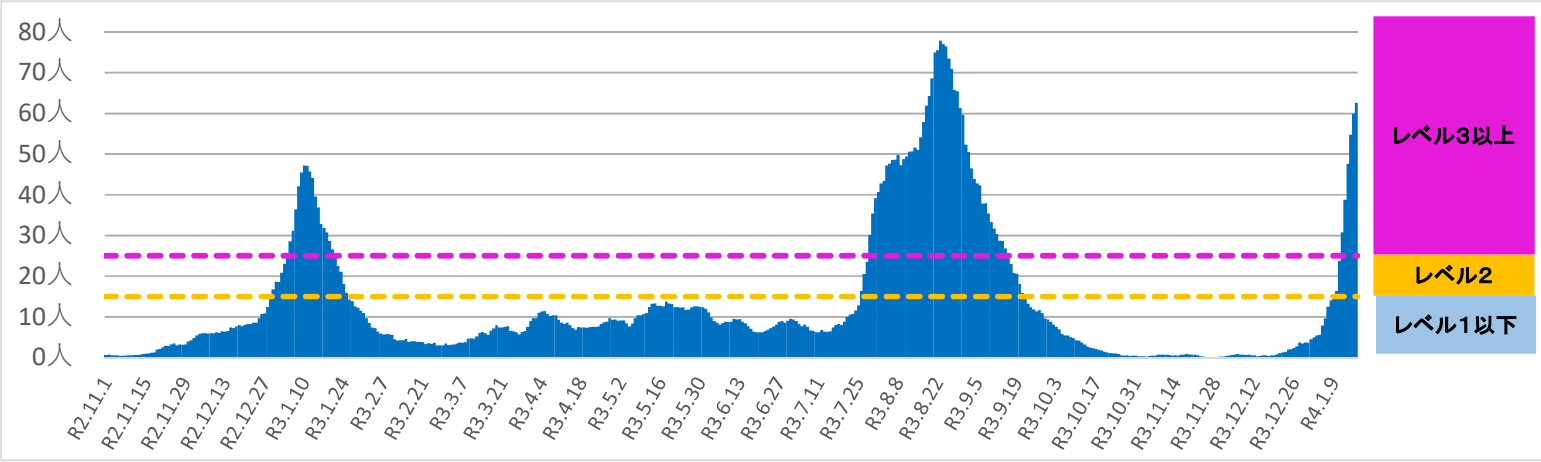
直近2週間の推移



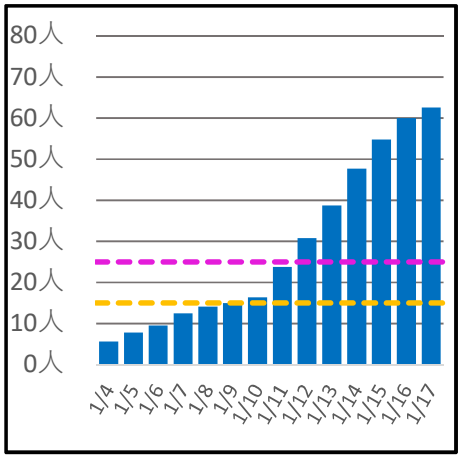
感　染　の　状　況

人口10万人あたりの
新規感染者数（直近1週間）

1月11日～　1月17日	62.6人	
過去最大値（直近日）	77.9人	（令和3年8月17日　～　8月23日）



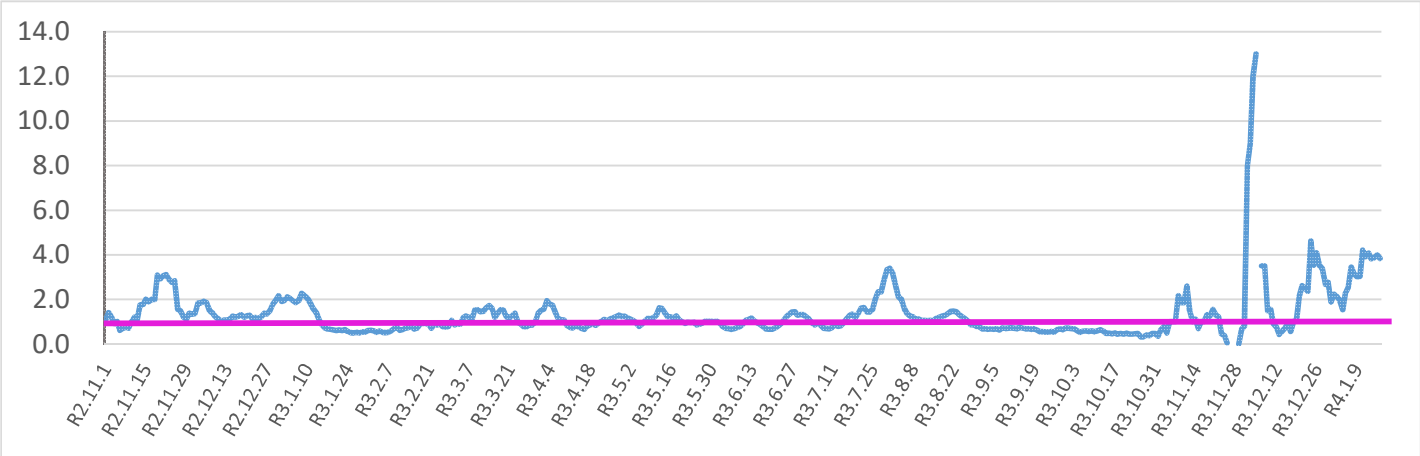
直近2週間の推移



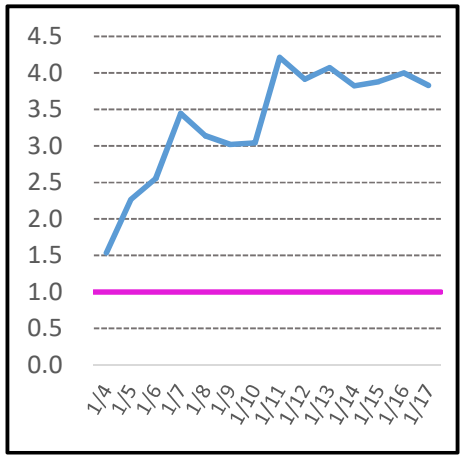
感染拡大・縮小の判断

新規感染者数の直近１週間
と先週１週間の比較

1月11日～　1月17日　3.8



直近2週間の推移

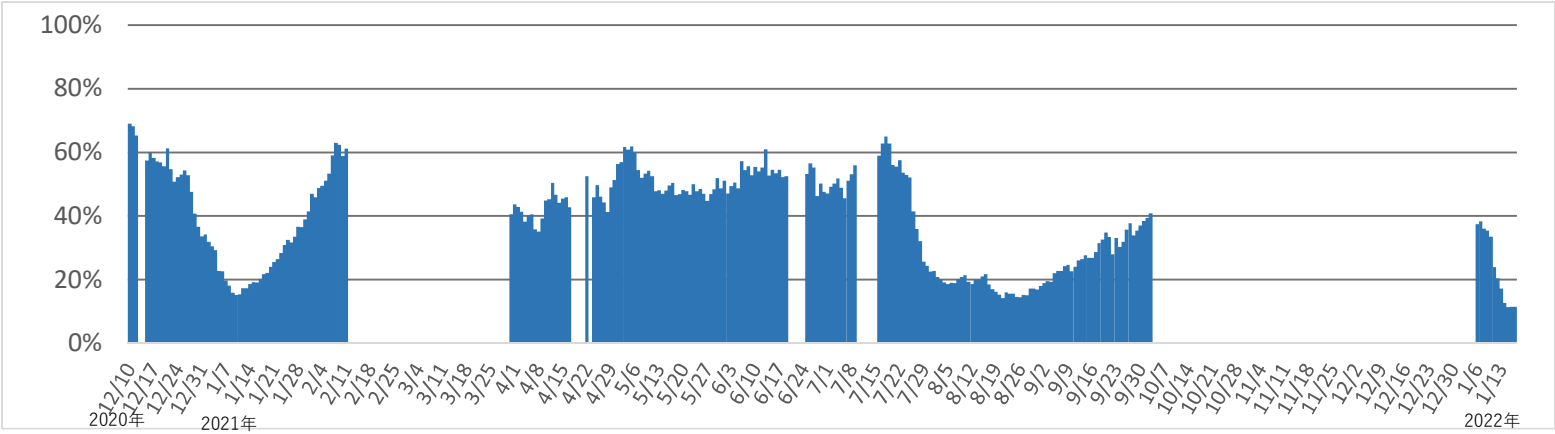


警戒度レベルの判断に使用するモニタリング指標

医療提供体制等の負荷

入院率

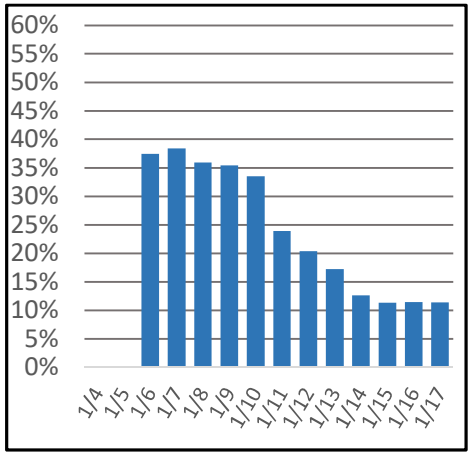
1月17日　現在値	11.4%	
過去最小値（直近日）	11.3%	（令和4年1月15日）



※療養者数に対する入院者数の割合

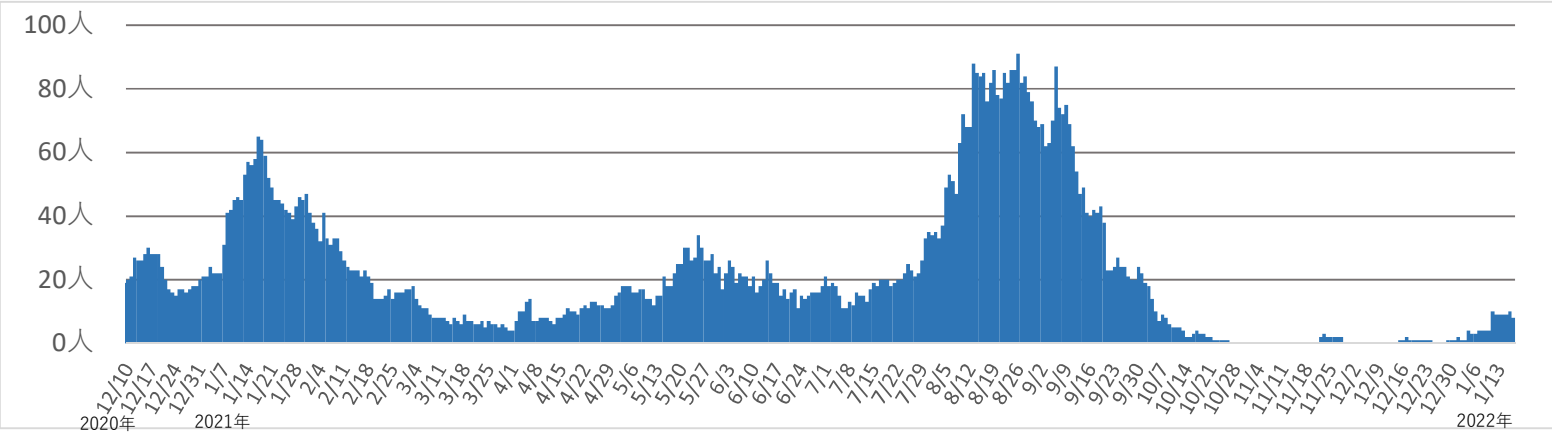
（療養者数が人口10万人あたり10人以上の場合に適用のため、初めて超えたR2.12/10以降を表示）

直近2週間の推移



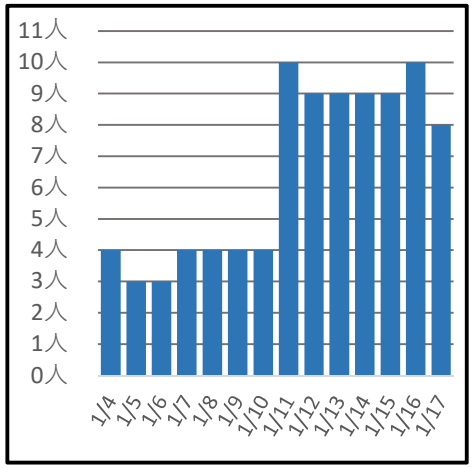
中等症者の推移

1月17日　現在値	8人	
過去最大値（直近日）	91人	（令和３年8月26日）



※入院者における中等症Ⅱのうち酸素投与者を計上

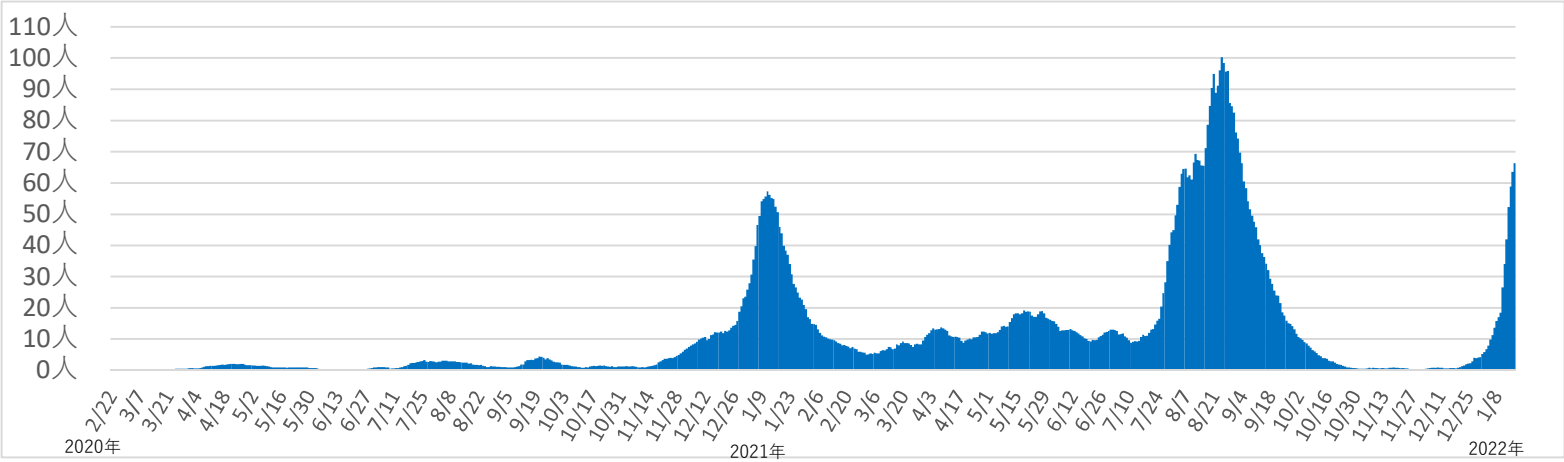
直近2週間の推移



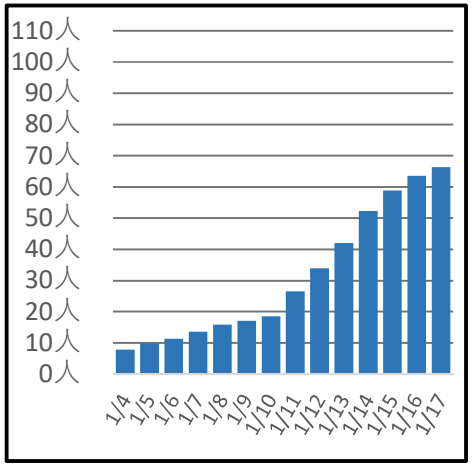
感　染　の　状　況

人口10万人あたりの全療養者数

1月17日 現在値	66.3人	
過去最大値（直近日）	100.3人	（令和3年8月25日）

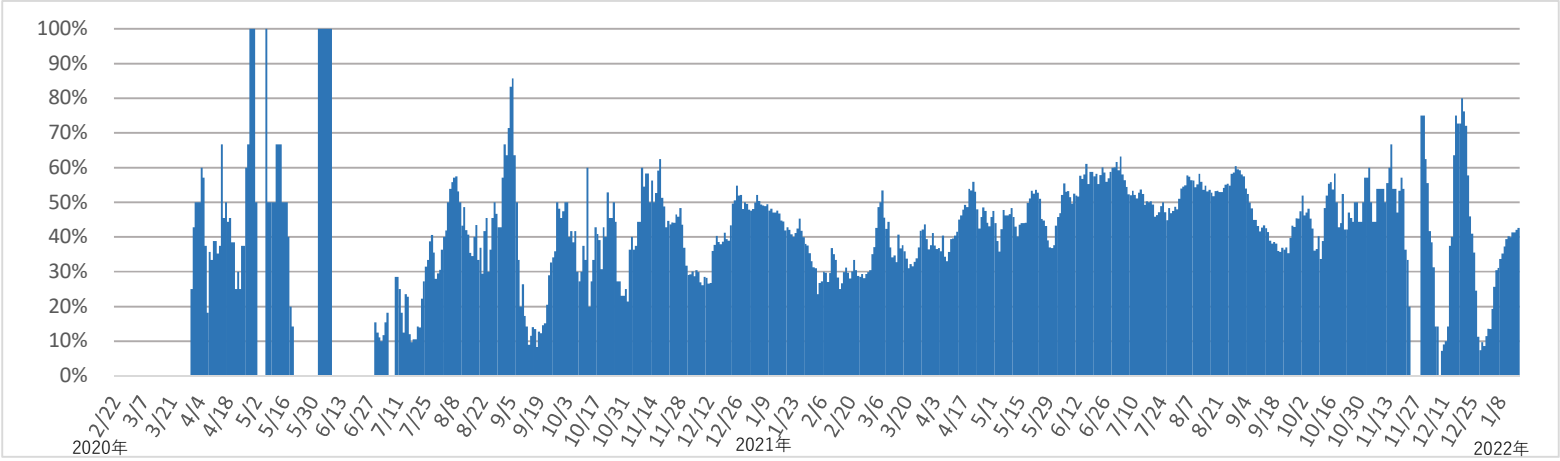


直近2週間の推移

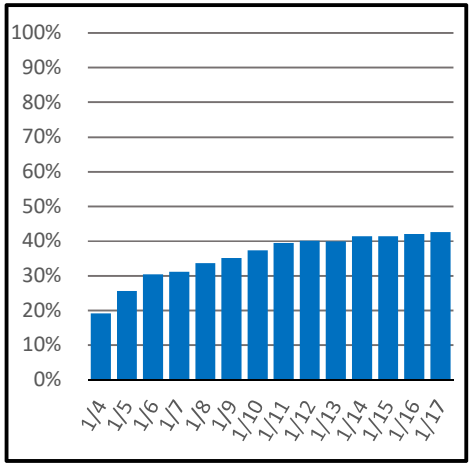


感染経路不明割合（直近1週間）

1月11日～　1月17日	42.6%	※令和2年6月27日以降	
過去最大値（直近日）※	85.7%	（令和2年8月31日　～　9月6日）	

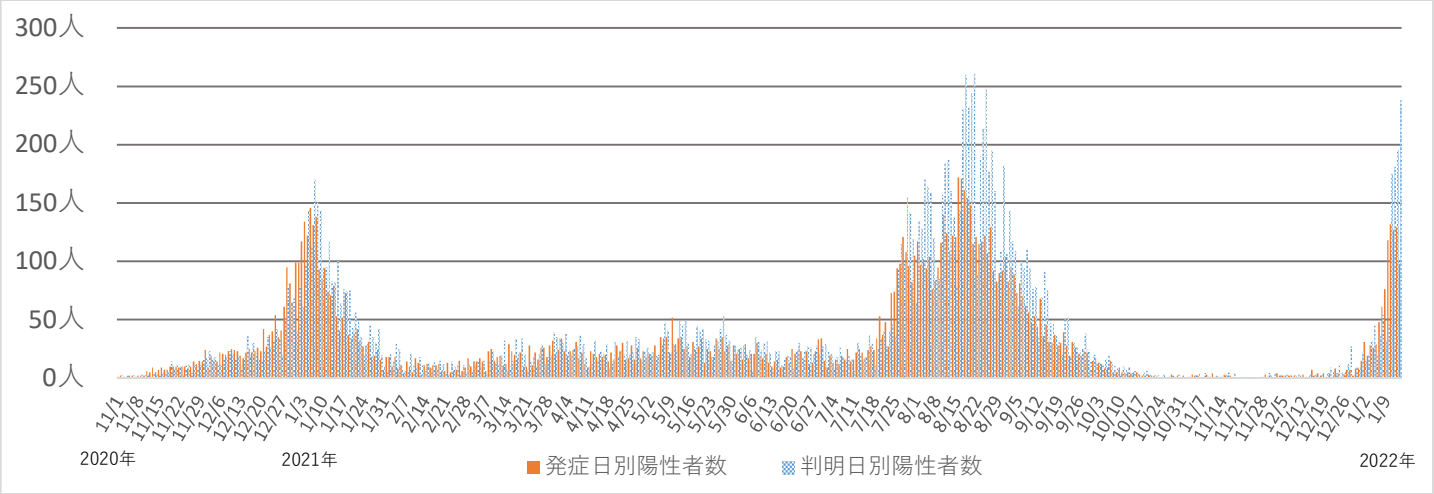


直近2週間の推移

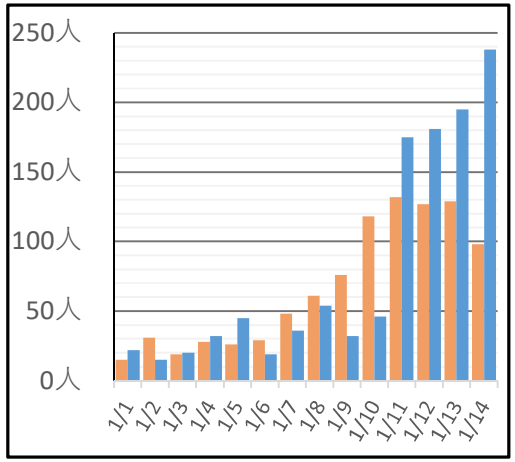


発症日別陽性者数

1月14日 現在値	98人	（※発症日から判明日まで平均３日程度のため、３日前を現在値とする）
過去最大値（直近日）	172人	（令和3年8月16日）

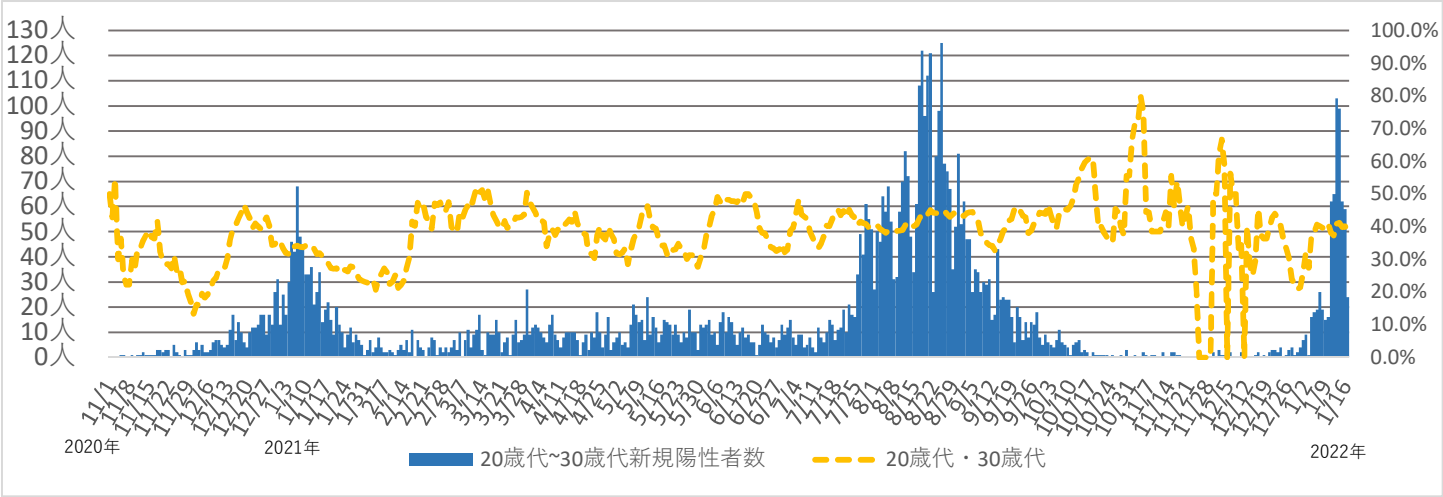


直近2週間の推移

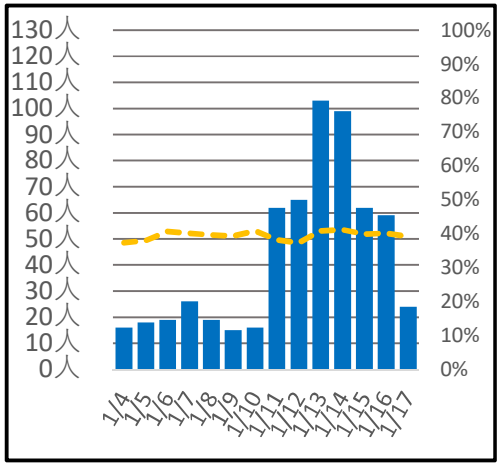


20代～30代の新規陽性者数及び割合

1月17日 現在値	24人	1月11日～ 1月17日	39.2%	
過去最大値（直近日）	125人	（令和3年8月25日） 過去最大値	80.0%	（令和3年11月4日）



直近2週間の推移

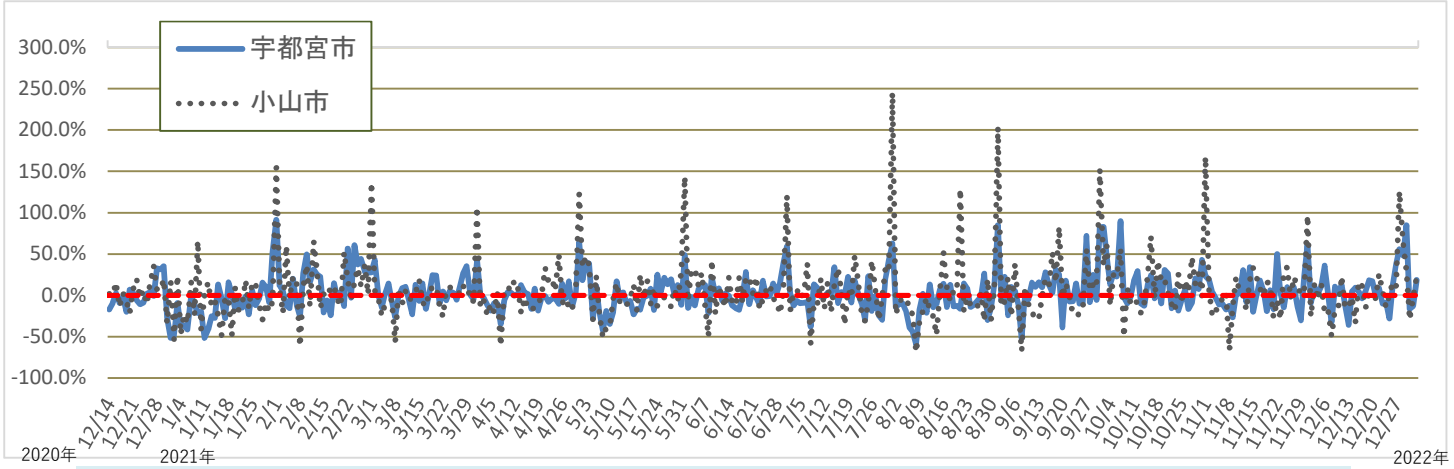


※判明日ベース　　※割合は一週間合計における割合としている。

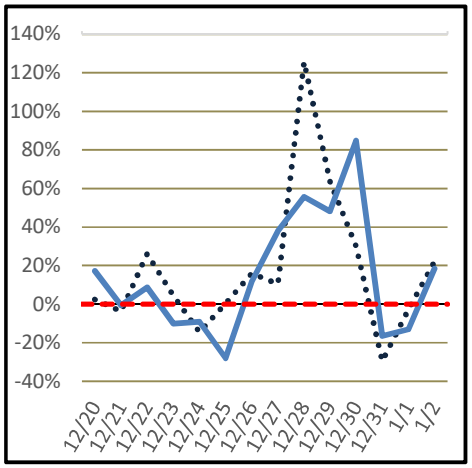
宇都宮市・小山市の夜間の人流
（21時の人流（前週との比較））

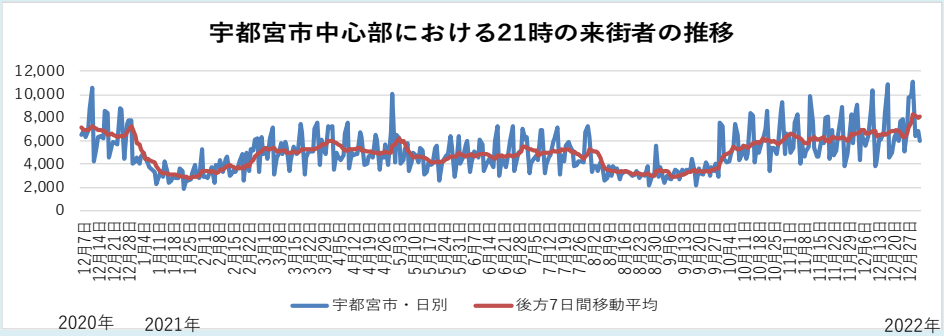
1月2日

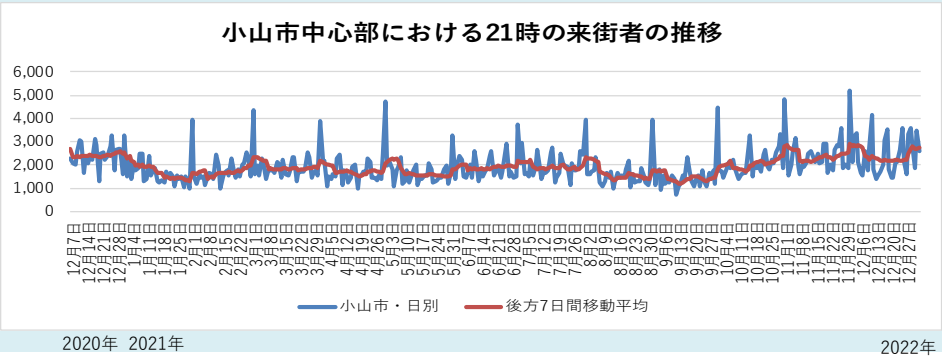
宇都宮市	18.6%	小山市	22.1%



直近2週間の推移







1月2日（日曜日）

宇都宮市（21時）

−11.9%
前日との比較

18.6%
前週との比較

75.2%
感染拡大以前との比較

1月2日（日曜日）

小山市（21時）

−25.2%
前日との比較

22.1%
前週との比較

118.2%
感染拡大以前との比較

KDDI株式会社が提供する「KDDI Location Analyzer」（以下「KLA」という。）にて、特定のエリア(88箇所)を対象に取得する滞在者情報を元に栃木県が作成しています。当該情報は、KLAにおける位置情報の利用に許諾したユーザー数をもとに、全人口に対するユーザーの割合等を踏まえ、KLAにて拡大推計した人数を利用しています。

（注意事項）

・当該情報は、対象日において該当エリアに30分以上滞在した推計来訪者数を集計しています

・来街者とは、直近1箇月の夜間(22時から翌朝5時まで)と直近1箇月の昼間(8時から19時まで）の最頻所在地が該当エリアに含まれない場合の推計来訪者と定義しています

・当該情報は、原則3日前の情報を最新の情報として掲載しています

・前日との比較では、休日と平日のデータ比較となる場合は、非常に大きな数値となっている場合があります

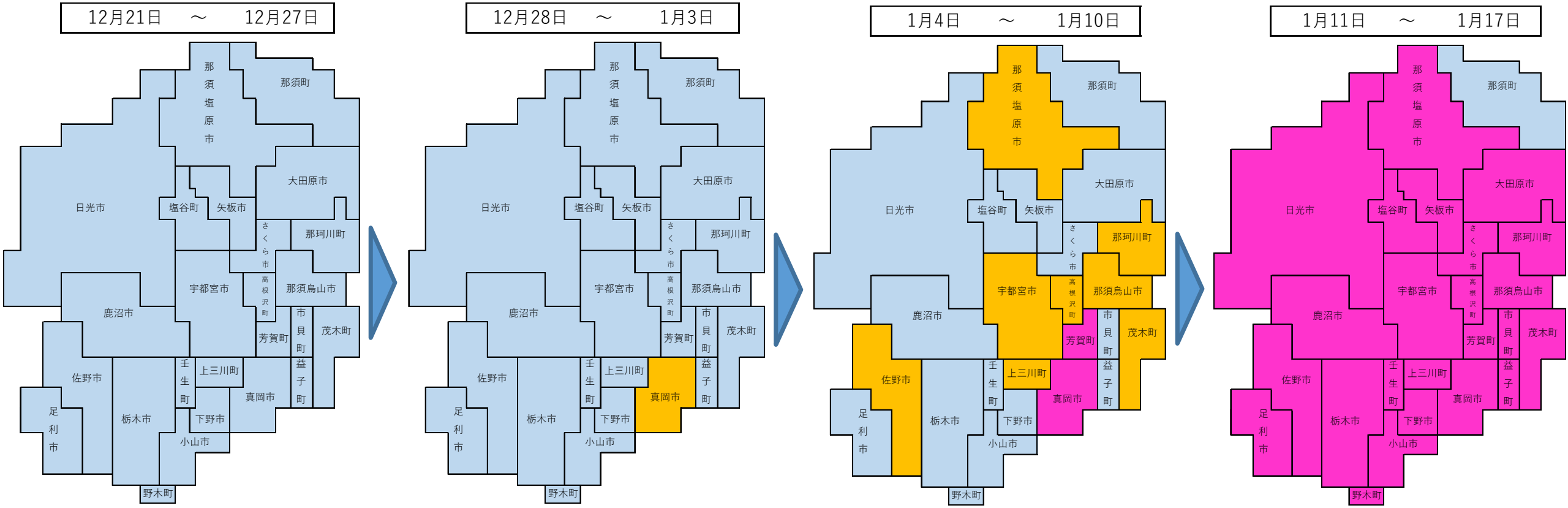
・前週との比較とは、前週の同曜日と比較しています。

・感染拡大以前との比較とは、令和2(2020)年1月18日から同年2月14日の同曜日の平均と比較しています

市町別人口10万人あたり１週間新規感染者数

	12月21日 ～12月27日		12月28日 ～1月3日		1月4日 ～1月10日		1月11日 ～1月17日	
	実数	対人口10万人	実数	対人口10万人	実数	対人口10万人	実数	対人口10万人
宇都宮市	41	7.9	64	12.3	115	22.2	356	68.6
足利市	7	4.8	9	6.2	8	5.5	48	33.2
栃木市	0	0.0	0	0.0	12	7.7	67	43.1
佐野市	0	0.0	10	8.6	27	23.2	59	50.8
鹿沼市	0	0.0	1	1.1	14	14.9	45	47.9
日光市	2	2.6	1	1.3	10	12.9	27	34.8
小山市	0	0.0	0	0.0	17	10.2	123	73.8
真岡市	1	1.3	13	16.6	25	32.0	35	44.8
大田原市	0	0.0	0	0.0	7	9.7	24	33.3
矢板市	0	0.0	0	0.0	4	12.8	22	70.6
那須塩原市	0	0.0	0	0.0	19	16.5	51	44.3
さくら市	0	0.0	0	0.0	4	9.0	26	58.4
那須烏山市	2	8.0	2	8.0	5	20.1	97	389.9
下野市	0	0.0	0	0.0	7	11.8	49	82.3
上三川町	0	0.0	0	0.0	6	19.5	18	58.4
益子町	0	0.0	0	0.0	2	9.1	10	45.7
茂木町	0	0.0	0	0.0	2	16.8	40	336.4
市貝町	0	0.0	0	0.0	1	8.9	5	44.4
芳賀町	0	0.0	0	0.0	5	33.4	4	26.7
壬生町	0	0.0	0	0.0	2	5.1	28	70.9
野木町	0	0.0	1	4.0	0	0.0	10	40.1
塩谷町	0	0.0	0	0.0	1	9.7	4	38.6
高根沢町	0	0.0	1	3.4	7	23.9	14	47.9
那須町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	12.5
那珂川町	0	0.0	0	0.0	3	19.7	9	59.2
県内市町村合計	53	2.7	102	5.3	303	15.7	1174	60.7
県外等	0		2		13		36	
県発表分総計	53	2.7	104	5.4	316	16.3	1210	62.6

レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0



※ステージはあくまで県の警戒度レベルの判断基準となる指標の「人口10万人あたりの新規感染者数」に当てはめた場合であり、当該市町の警戒度レベルを示すものではありません。

変異株（オミクロン株）の確認状況

Ｌ４５２Ｒ変異株（デルタ株）ＰＣＲ検査の結果（変異株ＰＣＲ検査の結果判明日ベース）

	12／27 ～1／2	1／3 ～1／9	1／10 ～1／16
Ｌ４５２Ｒ変異株ＰＣＲ検査実施件数（判定不能除く）	４５	１１９	１８６
うち陰性件数（%）	１（２%）	３６（３０%）	１５７（８４%）

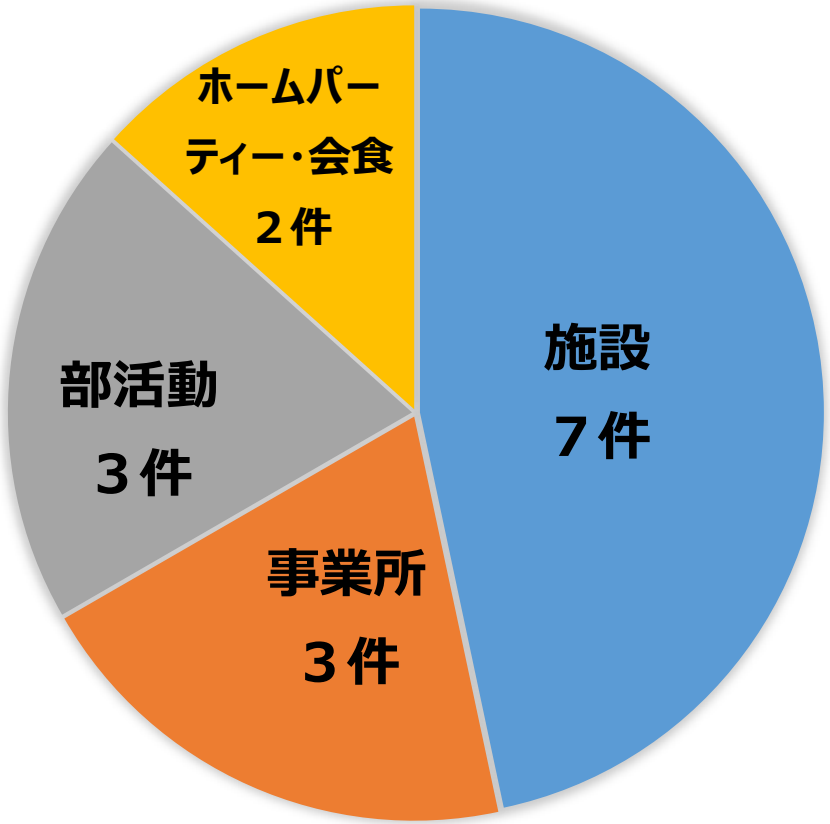
オミクロン株が疑われる件数

※ゲノム解析の結果について、これまでに１１８件実施し、５７のオミクロン株（確定）が確認されている

直近のクラスター発生状況

発生場所

期間：12/25～1/17



発生件数：15件
陽性者数：205名（1/17時点）
（前回第72回本部会議時：９件123名）

主な原因(推定)

○感染対策不足
　・換気不良
　・マスクなしでの会話・飲食
　・３密状況
○体調不良時の利用・勤務等　など

必要な対策

○基本的な感染対策
（適切な換気、共用部分の消毒、３密の回避など）
○管理者による職員・従業員・生徒等の健康管理の徹底
○「新しい生活様式」の実践　など

栃木県新型コロナ警戒度基準

警戒度レベルの判断に使用する主な指標及び目安

			警戒度レベル					備考	
			レベル4 避けたいレベル	レベル3 対策を強化すべきレベル	レベル2 警戒を強化すべきレベル	レベル1 維持すべきレベル	レベル0 感染者ゼロレベル	現在値 (R4.1.17)	過去 最大値
			緊急事態措置	まん延防止等重点措置	感染拡大期 感染収縮期				
医療提供体制等の負荷	病床のひっ迫具合	病床使用率(※1)	状況をみて判断	50%以上	20%以上	20%未満	新規感染者数ゼロを維持	27.1%	62.9% (R3.8.24)
		重症病床使用率(※1)		50%以上	20%以上	20%未満		0.0%	47.8% (R3.8.23)
監視体制	検査陽性率(直近1週間)			10%以上	5%以上	5%未満		17.2%	17.2% (R3.1.11～1.17)
感染の状況	人口10万人あたりの新規感染者数(直近1週間)			25人以上 ※実数:484人以上	15人以上 ※実数:290人以上	15人未満 ※実数:290人未満		62.6人	77.9人 (R3.8.17～8.23)

※1 最大確保数に対する割合
※2 第6波における最大値

感染拡大・収縮の判断	新規感染者数の直近1週間と先週1週間の比較	3.8	4.2 (R4.1.5～1.11※2)

病床使用率について
　コロナ医療には通常以上の人員や医療資源が必要です。このため本県の医療提供体制においては、コロナ病床使用率が20%を超えると急性期医療などコロナ以外の医療に大きな支障が生じかねず、更に50%を超えると医療全体が危機的な状況に陥っていると言えます。

R4.1.12

警戒度レベルに応じた措置・要請（想定）

■県民・事業者等に対し、下記内容を踏まえ、
感染状況の特徴に応じた必要な措置・要請を行う。

警戒度レベル		県民・事業者	飲食店等	イベント
レベル４ 避けたいレベル	緊急事態	外出自粛も含めたより強い要請	休業要請も含めたより強い要請	原則中止も含めたより強い要請
レベル３ 対策を強化すべきレベル	緊急事態	【県民】 ・混雑や感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛 ・感染対策が徹底されていない飲食店等や休業要請・時短要請に応じていない飲食店等の利用を厳に控える ・不要不急の帰省や旅行等、都道府県間の移動は極力控える（ＶＴＰ適用者を除く） 【事業者】 ・出勤者数の削減目標を定め、テレワークの活用や休暇取得の促進等の取組を推進 ・時差出勤等の人との接触を低減する取組を強力に推進	酒類・カラオケ設備提供店に対し休業要請 （VTPにより収容率50%上限でカラオケ設備提供可） 【認証店】20時までの時短・酒提供禁止・協力金あり 又は 21時までの時短・酒提供可・協力金あり ともに VTPにより人数制限解除 感染状況により酒提供不可とすることもある 【非認証店】20時までの時短・酒提供禁止・5人未満 協力金あり 集客施設等に対しイベントに準じた要請	＜人数制限＞ 【大声なし】 ・感染防止安全計画策定 かつ ＶＴＰにより収容定員まで ・感染防止安全計画策定のみの場合１万人まで ・計画未策定の場合５千人まで 【大声あり】 ５千人又は収容率50%のいずれか小さい方 ※開催時間については原則要請なし
レベル２ 警戒を強化すべきレベル	まん延 防止等重点措置	【県民】 ・混雑や感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛 ・感染対策が徹底されていない飲食店等の利用を自粛 ・時短要請した時間以降、飲食店にみだりに出入りしない ・不要不急の都道府県間の移動、特に緊急事態措置区域との往来は極力控える（ＶＴＰ適用者を除く） 【事業者】 ・テレワ-ク活用や休暇取得促進等により出勤者数削減を推進 ・時差出勤等の人との接触を低減する取組を強力に推進	措置区域に対し、 【認証店】21時までの時短・酒提供可・協力金あり 又は 時短要請なし・酒提供可・協力金なし ともに VTPにより人数制限解除 感染状況により酒提供不可とすることもある 【非認証店(認証店も選択可)】 20時までの時短・酒提供禁止・５人未満 協力金あり 集客施設等に対しイベントに準じた要請	＜人数制限＞ 【大声なし】 ・感染防止安全計画策定 かつ ＶＴＰにより収容定員まで ・感染防止安全計画策定のみの場合２万人まで ・計画未策定の場合５千人まで 【大声あり】 ５千人又は収容率50%のいずれか小さい方 ※開催時間については原則要請なし
	感染 拡大期 / 感染 収縮期	【県民】 ・都道府県間の移動に際しては基本的な感染防止対策を徹底 ・緊急事態措置区域及び重点措置区域への不要不急の移動は極力控える（ＶＴＰ適用者を除く） 【事業者】 ・テレワーク等人との接触低減に取り組む	「感染拡大期」 感染拡大地域に対し、 本取り扱いについては要請を行う際に整理 【認証店】時短要請なし・酒提供可・協力金なし VTPにより人数制限解除 【非認証店】20時までの時短・酒提供可・５人未満 協力金あり 感染状況により酒提供不可とすることもある	＜人数制限＞ 【大声なし】 ・感染防止安全計画策定により収容定員まで ・計画未策定の場合は５千人又は収容率50%のいずれか大きい方 【大声あり】 収容率50%
レベル１ 維持すべきレベル		【県民】 ・基本的な感染対策の徹底（「３密」の回避、「新しい生活様式」の実践） ・とちまる安心認証店の利用推進 【事業者】 ・人との接触機会を低減する取組の継続・実施 ・感染拡大防止のための適切な取組の実施（ガイドラインの徹底、会話する＝マスクする、居場所の切り替わりへの注意） ・「新型コロナ感染防止対策取組宣言」の実施 感染不安の無症状者は検査を受けること(感染状況により要請)	飲食を提供する方は、 ・パーティション(アクリル板等）の適切な設置 又は 座席間隔（１m以上）の確保 ・手指消毒の徹底 ・食事中以外のマスク着用の推奨 ・換気の徹底 に取り組むこと	
レベル０ 感染者ゼロレベル				

ＶＴＰ＝ワクチン・検査パッケージ
※ＶＴＰによる緩和は感染状況により中止することがある

警戒度モニタリング状況等について

１　警戒度判断の主な指標（令和４(2022)年１月 17 日現在）

指　標			現在値	レベル
医療提供体制の負荷	病床のひっ迫具合	病床使用率	27.1%	レベル２
		重症病床使用率	0.0%	レベル１以下
監視体制	検査陽性率（直近１週間）		17.2%	レベル３以上
感染の状況	人口 10 万人あたりの新規感染者数（直近１週間）		62.6 人	レベル３以上
新規感染者数の直近１週間と先週１週間の比較			3.8	拡大傾向

（医療提供体制の負荷）

・　重症病床使用率は０%の状態が継続しているが、病床使用率は 12 月下旬以降増加傾向にあり、現状ではレベル２となり、25%程度で推移している。

（監視体制）

・　検査陽性率は増加傾向にあり、現状では 10%を超え、レベル３以上となった。

（感染の状況等）

・　人口 10 万人あたりの新規感染者数は急増し、現状では 60 人を超え、レベル３以上となっている。新規感染者数の今週前週比も 1.0 を上回る日が続き、現状では 3.8 となっており、拡大傾向が続いている。

※　病床使用数予測について、国から「予測ツールについて、オミクロン株の特性等を反映させる必要があるため、参考指標として用いる」との見解が出されたことから、今後は本県でもモニタリング指標として用いることとする。

２　モニタリング指標（令和４(2022)年１月 17 日現在）

指　標	現在値	特記すべき事項
入院率	11.4%	１月中旬以降、低下傾向となり、現状では 10 %超程度となっている。
中等症者数（酸素投与のみ集計）	８人	現状では 10 名程度で推移している。
人口 10 万人あたりの全療養者数（直近１週間）	66.3 人	新規感染者数の増加に伴い急増しており、現状では 60 人を超えるに至っている。
感染経路不明割合	42.6%	新規感染者数が増加に伴い増加傾向にあり、40%程度で推移している。
発症日別陽性者数	98 人	新規感染者数が増加に伴い発症日と判明日のずれが大きくなりつつある。
20～30 代の新規陽性者数及び割合	39.2%	20～30 代の新規陽性者割合は 40%程度で高い水準で推移している。
中心部の夜間の人流（前週との比較）	宇都宮＋18.6% 小山　＋22.1%	前週との比較では増加傾向にある。 ※国システムの関係で１／２時点のもの
病床使用数予測	3 週間後 480.5% 4 週間後 1844.6%	（オミクロン株の特性等が反映されておらず参考指標として扱う）

３　変異株（オミクロン株）の確認状況（１月 16 日時点）

○ L452R 変異株 PCR 検査の結果(変異株 PCR 検査の結果判明日ベース)

	12/27～１/２	１/３～１/９	１/10～１/16
L452R 変異株 PCR 検査実施件数（判定不能除く）	45	119	186
うち陰性件数(%) ※	１(２%)	36(30%)	157(84%)

※オミクロン株が疑われる件数

○ 118 件のゲノム解析を行った結果、57 件のオミクロン株が確認されている。

４　国内の発生動向

全国の新規感染者数は、今週前週比 8.5 と急速な増加が続き、直近の１週間では 10 万人あたり約 41 となっている。新規感染者は 20 代を中心に増加している。全国で新規感染者数が急速に増加していることに伴い、療養者数が急増し、重症者数も増加している。

大部分の都道府県でオミクロン株のいわゆる市中感染が拡大しており、オミクロン株への急速な置き換わりが進んでいる地域もある。オミクロン株の伝播性が高いことを踏まえると、今後感染拡大が急速に進み、自宅・宿泊療養者や入院による治療を必要とする人が急激に増え、軽症・中等症の医療提供体制等がひっ迫する可能性に留意する必要がある。

【第 67 回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（令和４年１月 13 日）資料より】

５　近隣都県の感染状況

直近１週間の陽性者数（～１／16　対人口 10 万人（前週比））

栃木県	福島県	茨城県	群馬県	埼玉県	東京都
54.3(3.66)	16.8(2.75)	40.3(3.93)	74.0(3.80)	74.6(4.42)	141.9(4.28)

【厚生労働省ＨＰ「データからわかる－新型コロナウイルス感染症情報－」より栃木県作成】

６　評価

- 本県の新規感染者数は、昨年末以降３週間に満たない間に 15 件のクラスターが発生するなど短期間で急増し、発症日ベースでは１月当初に比べ約 10 倍に増加している。
- L452R 変異株 PCR 検査の陰性率は直近では８割を超え、感染力が強いと言われるオミクロン株への置き換わりが進んでおり、１月の三連休の影響等も考慮すれば、更に新規感染者数が急拡大することが懸念される。
- 病床使用率は 25%程度で推移しているが、新規感染者数の増加に伴い、中等症者や重症者の増加が懸念されるところであり、今後、更に病床使用率等が高くなるなど医療提供体制への負荷が高まった場合には、国に対してまん延防止等重点措置の適用を要請することを検討するとともに、国に要請する前であっても、感染が急拡大している状況に鑑み、警戒度レベル２における県民・事業者への要請内容を追加する。
- 新年会や成人式後に会食を行っていた感染者が複数確認されていることや、施設や部活動、事業所におけるクラスターが多発し、その原因としてマスク無しでの会話・飲食、３密状況であったことなどが推定されていることなどから、基本的な感染対策などの再徹底を県民・事業者に呼びかける。

国にまん延防止等重点措置の適用を要請する場合の目安

- 新規感染者数が昨年末以降急増し、人口10万人あたりの新規感染者数は60人を超え、警戒度レベルはレベル３以上
- 今週前週比も３倍を超えて推移しており、第５波以上に急激な増加が見られている
- 感染力が強いと言われるオミクロン株への置き換わりが進んでいる
- 病床使用率は25％程度で推移しており、新規感染者数の増加に伴い、中等症者や重症者の増加が懸念されるところであり、今後、更に病床使用率等が高くなるなど医療提供体制への負荷が高まる可能性

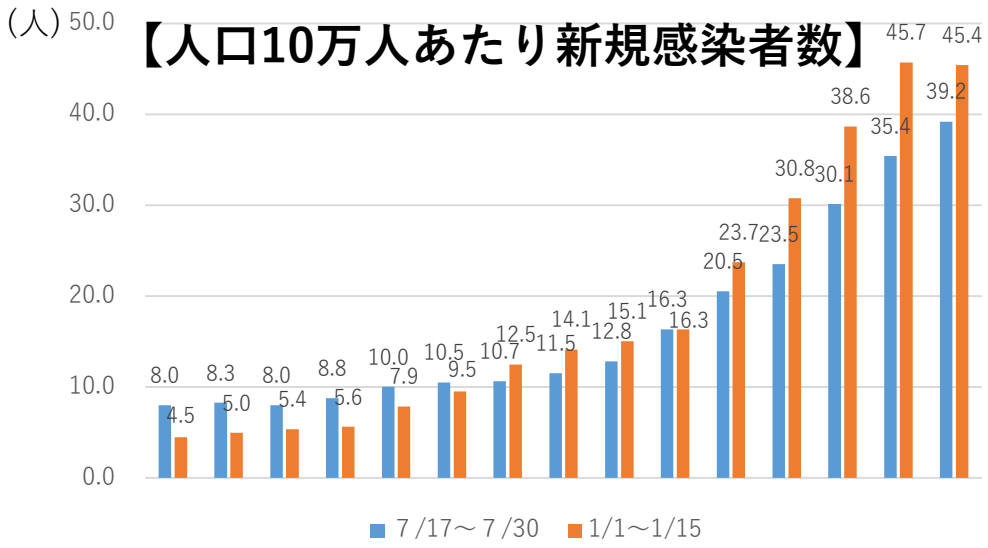
今後、以下を目安として、国にまん延防止等重点措置の適用を要請することを検討する

【確保病床数】
○現在：538床
○１月20日～：県央臨時施設(33床)及び安足臨時第一施設(19床)の開設に伴い、590床に増加

病床使用率	中等症者数
３５％以上	**２０人以上**
（１/17時点：２7.1％）	（１/17時点：８人）

第５波と第６波の初期の状況

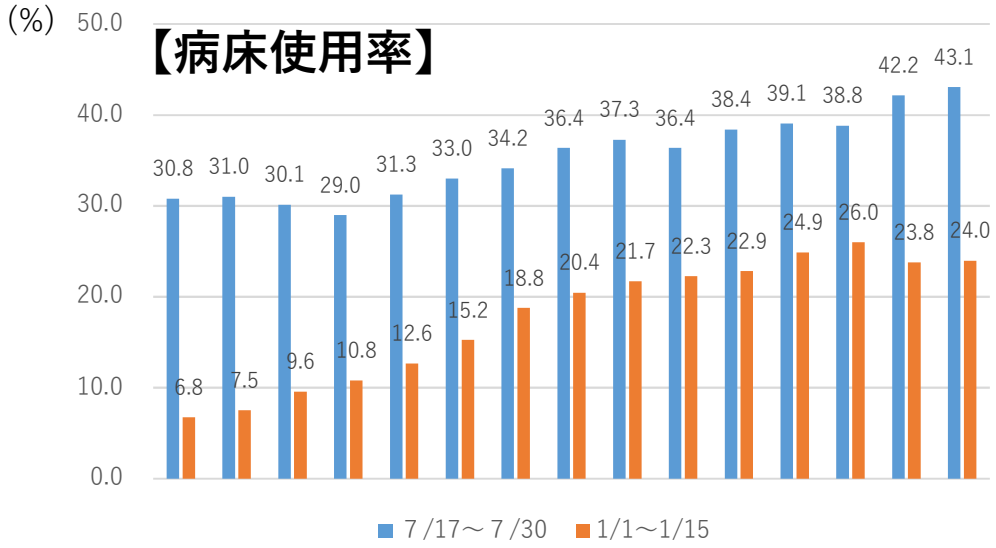
第５波時に本県がまん延防止等重点措置の要請を決定した８月１日前の約２週間（７/17～７/31)と現状の第６波の直近約２週間（１/１～１/15）における３つの指標の状況を比較

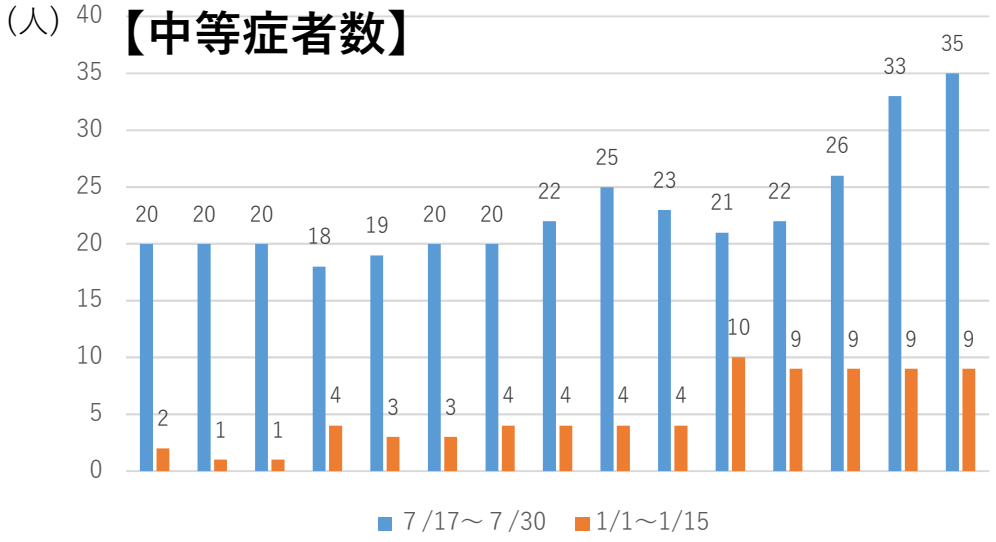


病床使用率	第５波初期＞第６波初期
中等症者数	第５波初期＞第６波初期
人口10万人あたり新規感染者数	第５波初期＜第６波初期

現状は、新規感染者数は第５波をやや上回るものの、病床使用率や中等症者数が第５波を大きく下回っている状況

今後、**特に病床使用率や中等症者数の状況を注視しつつ、医療ひっ迫等のおそれがある場合には、速やかにまん延防止等重点措置の適用を国に要請**する





警戒度レベル２【感染拡大期】における対応

※新たな要請事項等は下線部

① 区域　栃木県全域

② 期間　令和４(2022)年１月19日(水)～1月31日(月) ※終期は予定。状況を見て判断

③ 実施内容

感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、以下のとおり協力を要請

●県民に対する協力要請①（特措法第24条第９項）

【感染リスクの低減を図る取組】

- 基本的な感染対策の徹底の継続
  - ワクチン接種者含め、「マスク着用」・「会話する＝マスクする」・「手洗い」・「ゼロ密」・「換気」等
  - 外食の際は、とちまる安心認証店など、感染対策が徹底された飲食店を利用し、感染対策が徹底されていない飲食店等の利用を避ける
- 人との接触機会の低減
  - 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛
  - 同一グループ・同一テーブルでの５人以上の会食を避ける
  - 会食は２時間以内とする
- 感染に不安がある場合は積極的に検査を受検

●県民に対する協力要請②（特措法第24条第９項）

【慎重な移動】

- **<u>不要不急の都道府県間の移動は極力控える</u>**

●事業者に対する協力要請等

- **テレワーク、時差出勤、自転車通勤等、人との接触機会を低減する取組の継続・実施**を働きかけ
- **感染拡大防止のための適切な取組の実施**を要請（特措法第24条第９項）
  - 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインの徹底
  - 「会話する＝マスクする」運動への参加
  - 「居場所の切り替わり」(休憩室・更衣室・喫煙室等)への注意
- **「新型コロナ感染防止対策取組宣言」の実施**を働きかけ
- **<u>事業継続計画(ＢＣＰ)の点検・見直し及び策定</u>**を働きかけ

▶ 飲食を提供する皆様へ

改めて、次の点への取組をお願いします。

- **パーティション(アクリル板等)の適切な設置又は座席間隔(1m以上)の確保**
- **手指消毒の徹底**
- **食事中以外マスクの着用の推奨**
- **換気の徹底**

イベントの開催に関する協力依頼 【特措法第24条第９項】

【開催に必要な要件】

① 全てのイベントにおいて「イベント開催時における必要な感染防止策」を主催者が徹底するとともに、参加者も十分理解すること

② イベントごとに「チェックリスト」または「感染防止安全計画」を作成すること
- 5,000人超かつ収容率50％超のイベントについては「感染防止安全計画」を策定し、県所管課による確認を受けること
- それ以外のイベントについては「チェックリスト」を作成し、ＨＰ等で公表すること（終了後１年間保管）

③ 下記の人数上限等に沿った規模とすること

【人数上限等】

○ 収容率又は人数上限のいずれか小さい方を限度とする。

		収容率	人数上限
従来通り 《チェックリスト作成》	大声なし	100％以内※1	5,000人以下 又は 収容率50%以内の いずれか大きい方
	大声あり	50％以内※2	
「感染防止安全計画」実施 《感染防止安全計画策定》		100％以内 「大声なし」の担保が前提	収容定員まで

※１ 収容定員が設定されていない場合は、人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保すること。

※２ 収容定員が設定されていない場合は、十分な人と人との間隔（できるだけ２ｍ、最低1m）を確保すること。間隔の維持が困難な場合は、開催について慎重に判断すること

県立学校での対応

〇引き続き感染防止対策を徹底しながら、教育活動を実施します。

〇部活動については、付随する場面（飲食、更衣、移動、宿泊等）での感染防止対策を特に徹底します。

〇県境をまたぐ不要不急の往来は不可とします。

※市町立学校では、引き続き感染防止対策を徹底していただきたい。

基本的な感染対策などの再徹底を！

- 新年会や成人式後に会食を行っていた感染者が複数確認されており、**感染源が会食における接触の機会である可能性**
- **施設や部活動、事業所におけるクラスターが多発**しており、**その原因として、マスク無しでの会話・飲食、３密状況であったことなどが推定**されている
- **家庭内での感染も多く確認されている**

○３密を徹底的に避ける、「会話する＝マスクする」など、**基本的な感染対策の再徹底をお願いします。**

○発熱等の**症状が見られる場合には、かかりつけ医などの医療機関を受診してください。**

○無症状の場合であっても、**感染に不安のある方は、県内の検査拠点（113ヶ所）において無料検査を受検してください。**

○**会食する場合には、４人以内、２時間以内で実施してください。**